

事業名	農業大学校運営事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
		実施期間	T2 ~	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進				

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	<p>○農業教育の拠点として、農業技術の習得と経営改善に対応できる能力を備えた農業の担い手を養成しており、平成30年4月1日現在、農学部で120人の学生が学んでいる。</p> <p>○卒業生は自家就農や農業法人への就職、農業協同組合、農業関連企業に就職し、多くの卒業生が本県農業の振興のために活躍している。</p> <p>○H26年度からは、企業的農業経営体の育成を目的とした実践経営者コースを開設したほか、一般コースの農家実習の拡充(24日→45日)、外部講師の充実等、農大全体の就農率向上のため、農大改革を進めており、就農率は35.4%(H26)から62.5%(H30)と向上している。</p>	30年度 決算額	68,806 千円
		職員数	32.00 人
目指す姿	<p>理論と実技を同時に学ぶ実践型の教育により、農業技術の高度化・経営の専門化に対応する知識・技術の修得が進み、寮生活や自らテーマを定めて行うプロジェクト学習等により、他者との協調・自己の確立等の社会性が涵養され、21世紀の農業・農村を担う優れた人材が養成されている。</p> <p>(主な実施内容：農大施設整備、農業に関する実践的な講義の実施、農業試験場での実習を通じた技術習得、里親前基礎研修等を通じた新規就農者の技術力向上研修の実施)</p>		

事業 コスト	区分(単位:千円)				指標及びその達成状況				
	No	成果指標	29年度	30年度					
				目標値	成果	達成状況			
予 算 額	前年度繰越	71,156							
	当初予算	70,432	72,199		74,403				
	補正予算		0						
	合計(A)	141,588	72,199		74,403				
Aの 財 源	一般財源	43,620	44,162		43,750				
	県債	36,000			3,000				
	国庫支出金	50,994	17,701		17,098				
	その他	10,974	10,336		10,555				
決 算 額(B)	131,035	68,806							
概 算 人 件 費	職員数(人)	32.00	32.00		32.00				
	概算人件費(C)	259,264	262,976		262,976				
概算事業費(B(A)+C)	390,299	331,782		337,379					
備考					成果指標 設定理由	農大改革の主要目標となっている「農学部卒業生の就農率向上」と、研修部で実施する農業機械技能研修の「受講者免許取得率向上」が評価できるため。			

目標に対する 成果の状況	<p>①就職希望の学生が一定程度あったため、目標を達成できなかった。農業法人等合同説明会の開催や先進農業者からの講義の実施などにより、農業の魅力やPRし、就農率の向上を図る。</p> <p>②、③研修生への丁寧な指導により、研修部の大型特殊、けん引免許取得率は、目標を達成した。</p>
-----------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業を どのようにし ていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農大改革により、卒業生の就農率は年々着実に向上しているが、長野県農業の次代を担う人材育成機関として、意欲ある学生の確保と就農率の向上が求められている。</td> <td>先端技術であるスマート農業の講義及び実習の実施や外部講師による実践的講義の拡充など農大の魅力向上を図り、意欲ある学生の確保と就農率の更なる向上を目指す。</td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	農大改革により、卒業生の就農率は年々着実に向上しているが、長野県農業の次代を担う人材育成機関として、意欲ある学生の確保と就農率の向上が求められている。	先端技術であるスマート農業の講義及び実習の実施や外部講師による実践的講義の拡充など農大の魅力向上を図り、意欲ある学生の確保と就農率の更なる向上を目指す。
課 題	今後の方向性				
農大改革により、卒業生の就農率は年々着実に向上しているが、長野県農業の次代を担う人材育成機関として、意欲ある学生の確保と就農率の向上が求められている。	先端技術であるスマート農業の講義及び実習の実施や外部講師による実践的講義の拡充など農大の魅力向上を図り、意欲ある学生の確保と就農率の更なる向上を目指す。				

3 事業を構成する細事業の内容

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
1		農業大学校運営費	実践的な講義や実習による農業に関する知識と技術の習得教育を実施した。	24.00	50,871	48,786	50,589
2		実科・研究科費	生産基盤を持つ農家出身者を主体に、農業関係試験場での実習を通じた栽培技術の習得及び就農促進のための教育を実施した。	兼務	6,358	6,099	6,883
3		研修部費	里親前基礎研修や農業機械技術習得研修を通じた新規就農者の技術力向上のための研修を実施した。	8.00	10,498	9,493	10,673
4		農業大学校施設整備費	小諸キャンパスのガラス温室屋根葺替等工事を実施した。	兼務	4,472	4,428	6,258
合計				32.00	72,199	68,806	74,403

事業改善シート附表

当初要求
 当初予算案
 補正予算案
 点検

事業番号	事業名	農業大学校運営事業				部局	農政部	課・室	農業技術課			
細事業 No	細事業名	項目	実施 方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施 状況	30年度					
							当初 (千円)	要求 (千円)	当初 (千円)	補正 (千円)	決算 (千円)	
1	農業大学校運営費	農業大学校運営費	直接	実践的な講義や実習による農業に関する知識と技術の習得教育を実施	各界の第一人者による実践的な講義の実施、GAPのカリキュラム化、模擬経営による農業に関する知識と技術の習得教育等を実施した。	計画通り ○	50,598	50,871	50,871		48,786	
2	実科・研究科費	実科・研究科費	直接	生産基盤を持つ農家出身者を主体に、農業関係試験場での実習を通じた栽培技術の習得及び就農促進のための教育を実施	生産基盤を持つ農家出身者を主体に、農業関係試験場での実習を通じた栽培技術の習得及び就農促進のための教育を実施した。	計画通り ○	6,331	6,358	6,358		6,099	
3	研修部費	研修部費	直接	里親前基礎研修や農業機械技術習得研修を通じた新規就農者の技術力向上のための研修を実施	里親前基礎研修や農業機械技術習得研修（大特7回、けん引5回）を通じた新規就農者の技術力向上のための研修を実施した。	計画通り ○	10,426	10,498	10,498		9,493	
4	農業大学校施設整備費	農業大学校施設整備費	直接	小諸キャンパスのガラス温室屋根葺替等の工事	小諸キャンパスのガラス温室屋根葺替等の工事を実施した。	計画通り ○	3,077	7,271	4,472		4,428	
合 計								70,432	74,998	72,199	0	68,806